

## 普及活動情勢報告（令和8年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### イチゴの収量、品質向上を目指して ～佐川町へのハウス視察を通じた生産者間交流～



1月22日、土佐市いちご部会の生産者4名が佐川町イチゴ生産者のハウス視察を行い、栽培方法や品種特性等について意見交換を行いました。

生産者同士の情報交換の場を設けたことで、他産地での育苗方法や培地消毒方法等も共有でき、生産者からは「他産地での栽培状況を見る機会は少ないので勉強になった、交流を継続したい」といった意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、いちご部会の生産安定に向けた支援を継続していきます。

### ショウガの生産コスト削減と放置竹林解消に向けて ～いの町生姜生産研究会で報告会を実施～



1月27日、いの町生姜生産研究会がJAグリーン伊野支所で、報告会を開催し、生産者3名を含む13名が参加しました。農業改良普及課は今年度の取組内容と来年度の計画について説明しました。

生産者からは、来年度の計画における、竹チップを被覆資材として活用可能か確認する実証試験について、「竹チップをもっと粗くし、散布をしやすくしてほしい」といった現場ならではの意見が聞かれました。

農業改良普及課は今回の意見を試験計画に反映しつつ、竹チップが実用可能かを確認するとともに、今後の竹チップ生産等における体制構築に向けても検討を進めていきます。

### 高品質米の安定生産に向けて！

～土佐岩戸米営農組合総会を開催～



2月13日、土佐岩戸米営農組合の総会が開催され、組合員やJA等合わせて25名が参加しました。総会では、今年度の収支報告、米30kgあたりの支払額の説明が行われました。

農業改良普及課は、ケイ酸の効果や、生育期間中のガス害の原因や対策などの説明を行いました。

参加者からは、「ケイ酸の必要性が改めて理解できた」、「稲わらのすき込みを早く行うようにする」といった意見が聞かれました。

農業改良普及課は、引き続きケイ酸の活用による土づくりなどについて指導し、土佐岩戸米営農組合の高食味、高付加価値米の安定生産を支援します。

週末は農作業に従事してみませんか？  
～県職員向けピーマン収穫体験会を開催～



2月21日、JA、土佐市、農業改良普及課で連携して県職員向けのピーマン収穫体験会を開催し、11人が収穫作業を体験しました。

今回の収穫体験会は、労働力確保の一つの方法として、県職員の兼業による収穫作業への従事を検討するために実施しました。

農業改良普及課は、参加者の募集のほか、収穫果実の見極め方等をアドバイスしながら、参加者の収穫作業をサポートしました。

参加者からは、「無心になれて収穫作業は楽しい」、「実際に農作業に従事してみたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、労働力の確保を進めていきます。